

ON・I・ON 2入門セミナー

～開催結果のご報告～

- 開催日:2018年11月6日(火)
- 会場:アイオス五反田
- 講師:(公社)国際経済労働研究所
専務理事 兼 統括研究員 八木隆一郎

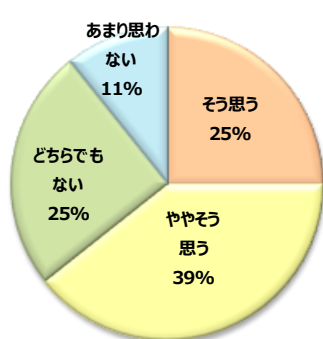
この度は「ON・I・ON2入門セミナー」にご参加いただき、誠にありがとうございました。

セミナー終了時に、参加者の皆様にご記入いただいたアンケートをまとめましたので、開催結果としてご報告いたします。

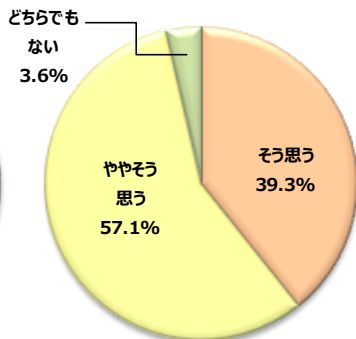
(出席者数:29名 回答者数:28名)

■アンケート集計■

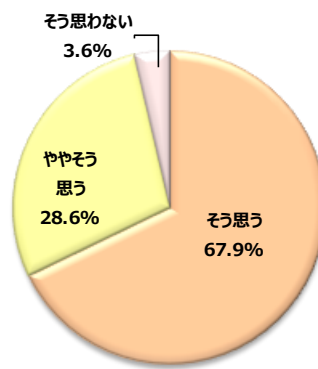
1. 今回のセミナーへの期待は大きかったですか？



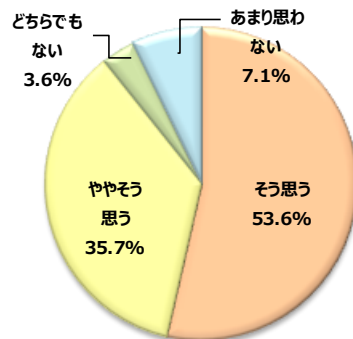
2. ON・I・ON2の内容に興味や関心をもちましたか？



3. 講師のレクチャーはわかりやすかったですか？



4. セミナー全体として満足されましたか？



■感想コメント（気づき・ご意見など）■

- ON・I・ON2の活用方法について、今後の活動に活かしていけるヒントが得られた。うまく職場の組合員も巻き込みながら活動を展開していきたい。
- 活動の本質の再確認と、なぜ組合員の関与が減っていったのか、組合員の関心が減っていったのかが、**社会心理学**を通じて入口が分かった点が良かった。
- ON・I・ON2の扱い方が具体的に理解できた。「社会的現実」を自分の組織について考えるきっかけとなった。
- 具体例で説明が分かりやすかった。組合員がお客様と思わない、参加関与型の組合活動に今から取り組んでいきたいと思えます。
- 労働組合の失われた30年、そもそも論が大きく違うことが良く分かりました。今後の行動、活動に自ら変わらなくてはならないと思いました。
- 組合活動の在り方を整理できたと思えます。今後の活動で意識して、主体的、活性化を図って仕掛けていきます。
- 「共同調査」の意味、目的を理解することができた。次回、ON・I・ON2に参加する場合をイメージして考える機会になった。

- 組合員のモチベーションの相関関係や、参加関与についてはとても興味深かった。
- 調査が持つ性質について、改めて正しく理解できた。今後の調査項目の設定に活かしたい。
- 組織内で意識調査を実施していたが、その内容を改善するポイントが掴めた気がする。
- 時間が短かった。内容理解を深めるという観点であれば、1日使っても良いかと思えます。

他にも多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。

セミナー風景



【事務局より】今回のセミナーは、13組織29名の方にご参加いただきました。講師とのインタラクティブなセミナーに、皆様熱心に参加、聴講いただき多くの気づきをお持ち帰りいただいたように思います。セミナーの内容については、組織内で共有いただき、これからの活動の取り組みや組合役員の育成にお役立っていただければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

株式会社 応用社会心理学研究所（事務局:末田、藤原）

〒540-0031
大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F
Tel:06-6941-2171 Fax:06-6941-2081

